

2024アビリンピック静岡大会
喫茶サービス種目 金メダル
第44回全国アビリンピック
喫茶サービス種目 出場
静岡県立浜松特別支援学校城北分校

浦上 咲茶
URAGAMI SASA



アビリンピック から学んだこと

他選手と協力して接客サービスを提供する楽しさ

障害のある方々が、日頃培った技能を競う「アビリンピック」。障害のある方々の職業能力の向上を図り、企業や社会の理解を広げ、雇用の促進等につなげることを目的としたこの大会において、令和六年度本県選手団唯一の特別支援学校からの全国大会出場となった浜松特別支援学校城北分校の浦上咲茶さんにお話を伺った。

「まずは、アビリンピックにチャレンジしてみようと思ったきっかけを教えてください。」

（浦上さん※以下敬称略）同じ学校の先輩が出場している姿を見たのがきっかけです。

「喫茶サービス」種目の魅力はなんでしょうか。

（浦上）この種目は、自分の力だけでは完結せず、他の選手と協力してサービスを提供できるかが重要となります。初対面の人と積極的にコミュニケーションを取り、全員で接客を行うことに魅力と楽しさを感じています。また、お店の店員さんへの憧れをかなえることができる場でもあります。

「大会に向けた練習で大変だったこと、苦労したことはありませんか。」

（浦上）課外活動の限られた時間の中で効率的に練習しなければならな

い点は苦労しました。しかし、同級生がお客さん役として練習に協力してくれたり、競技を経験した先輩や先生方がアドバイスをしてくれたりして、乗り越えることができました。さらに、現役のホテルスタッフの方から指導を受ける機会も学校でつくっていただき、とても参考になりました。

静岡県の誇りとともに、全国大会に臨む

「十一月に県庁で行われた全国大会に出場する選手の結団式では、「選手宣誓」を務められました。」

（浦上）二年生の時に生徒会長を務めた経験があったので、人前で話すことには慣れていたつもりでしたが、知事や来賓の前で選手宣誓をするのはやはり緊張しました。当日は、家族も応援に来てくれて、無事大役を果たせたことはとても良い経験になりましたし、静岡県代表としての誇りを持って全国大会に向かう気持ちを作ることができました。

（浦上）周囲の状況に合わせて自分の取るべき行動を判断する力を養うことができたと思います。地元企業の応援もあり、技術を学べたことも大変良い経験となりました。



コミュニケーションスキルと挑戦する姿勢

「全国大会では、他県の選手と積極的に話さされている姿が印象的でした。」

（浦上）大会で知り合った他県の特
別支援学校の選手と、大会後もやり
取りをする関係を築くことができて
うれしかったです。他種目の選手と
も交流することができ、特にこれか
ら就職するに当たって、仕事に関す
る視野が広がったと感じています。
「ご卒業後の進路で、アビリンピック
の経験が生きるポイントはありま
すか。」

や大会で培ったコミュニケーション
スキルや何事にも挑戦する姿勢は、
新しいフィールドでも発揮してい
たいと思います。

「最後に、これからアビリンピック
を目指す特別支援学校の後輩へ一言
お願いします。」

（浦上）自分自身も出場するかとど
うか悩みましたが、まわりのサポート
もあって挑戦することができ、とて
も良い経験となりました。これから
大会への挑戦を考えている後輩は、
勇気を出して一歩を踏み出してほし
いと思います。私も先輩として、で
きる限りサポートしたいと思いま
す。

「ありがとうございました。」



ここからは、大会に向け指導に当
たった浜松特別支援学校城北分校の
担当教諭にお話を伺った。
「貴校は、長年「喫茶サービス」種
目において、選手の育成に取組まれ
ています。」

（担当教諭※以下教諭）生徒には、
授業の中でいろいろな職業を体験す
る機会を提供しています。喫茶サー
ビス種目に通じる接客業について、
近年の本校のカリキュラムでは、二
年生の時に全員が体験する形となっ
ており、その中で、生徒のチャレン

ジ精神を養うことを目的として、希
望する生徒には、三年生の時にアビ
リンピックへの挑戦を勧めていま
す。

一歩先のコミュニケーションスキルを身につける

「指導に当たっての学校側の体制を
教えてください。」

（教諭）練習は基本的に大会の二ヶ
月前から週一回〜二回で、指導担当
の教員が同席して行っています。時
には、他の生徒も自主的にお客さん
役等で練習に協力してくれて、学校
として大会にチャレンジしやすい雰
囲気が作れていると思います。県大
会、全国大会への参加に当たって
は、チャレンジ部という部活動の枠
組で出場ができるため、指導に当た
る教員の立場としても、積極的に指
導に携わることができると体制を構築
してもらっていると感じています。

「指導に当たって心掛けていること
はありますか。また、大会を自指す
生徒へ期待することを教えてください。」

（教諭）大会を通じて、社会人とし
ての意識が高まってほしいと考えて
います。競技では自分の所作だけで
なく、相手にとって良いサービスは
どのようなものなのかということも
各々が考えることにより、一歩進ん
だコミュニケーションが取れるよう
になることを期待しています。

同じ目的、目標を持った仲間が一堂に集う機会

「最後に、これからアビリンピック
への出場を検討している県内の特別
支援学校へ一言お願いします。」

（教諭）同じ目的、目標を持った同
年代の生徒が触れ合える環境とい
うのは限られていると思います。アビ
リンピックはそういった環境を学校
側が提供できる良い機会ですので、
ぜひ多くの学校から参加していただ
きたいと思います。全国大会では、
他県の選手とも交流することができ
るので、生徒にとっても交友関係を
広げ、幅広い視野を得る貴重な機会
となるはずです。

「ありがとうございました。」
アビリンピックのご質問は、県大
会公式ホームページ記載の連絡先ま
でお気軽にお問い合わせください。



令和7年度アビリンピック静岡大会HP



■静岡県経済産業部就業支援局職業能力開発課

アビリンピック担当

■独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

静岡支部 高齢・障害者業務課